

テーマ：『地域資源を活用したコミュニティの再生について』

～持続可能な地域づくりに向けて～

〈講師〉 法政大学現代福祉学部 教授 図司 直也氏

ふるさと財団 地域再生マネージャー 丹羽健司氏

開催日時 2017年11月6日（月） 13:30～16:30 （開場 13:00）

会場 熊本県庁（地下大会議室）熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 Tel:096-333-2137

参加費 無料

【セミナー概要】

熊本県では、従来からの課題である人口減少への対応に加え、平成28年熊本地震では甚大な被害を受けており、震災からの創造的復興を着実に進めていくことが求められています。

特に、人口減少 少子高齢化や震災などによって、経済活動の縮小のほか地域を支える自主的な活動の縮小などコミュニティの維持、存続が危惧されており、その対応が必要となっています。

それぞれの地域が持つ^{ちから}資産を、様々な人が磨き次代につないでいく取組みを通じて、持続可能な地域づくりを推進していくことが重要であり、今後の気運を醸成するため、本セミナー開催します。

そこで本セミナーではその方策の一助にさせていただくため、基調講演として法政大学現代福祉学部 教授 図司 直也氏をお招きし、「地域再生のプロセス—現状の気づきから再生への道筋—」をテーマにお話ししていただきます。次に事例発表として、ふるさと財団地域再生マネージャー 丹羽健司氏より、「素人たちが変える水源の森と村」をテーマに実践的な事例紹介をしていただきます。

【次 第】

13:30	開会挨拶	（一財）地域総合整備財団 理事長 柚木 憲一
13:40	基調講演	テーマ：『地域再生のプロセス—現状の気づきから再生への道筋—』 法政大学現代福祉学部 教授 図司 直也氏
14:40	質疑応答	
14:55	休憩	～ 15分間 ～
15:10	事例発表	テーマ：『素人たちが変える水源の森と村』 ふるさと財団 地域再生マネージャー 丹羽健司氏
16:10	質疑応答	
16:25	財団からのご案内	（一財）地域総合整備財団 地域再生部長 塩田 賢一
16:30	閉会	

【セミナー内容等のお問い合わせ先】

（一財）地域総合整備財団（ふるさと財団）地域再生部（担当）加藤（かとう）03-3263-5736

【参加申し込みのお問い合わせ先】

熊本県 企画振興部地域・文化振興局 地域振興課（担当）内山（うちやま）096-333-2137

<基調講演>

法政大学現代福祉学部 教授 関司 直也氏

1975年愛媛県生まれ

1999年東京大学農学部卒業。2005年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程を単位取得退学し、農学博士号を取得。財団法人日本農業研究所研究員、法政大学現代福祉学部専任講師、同准教授を経て、

2016年から現職。

大学生の時に参加した地域社会調査がきっかけとなり農山村地域と農林業に強く関心を持ち、各地の農山村の現場と向き合う研究を行っている。

現在は農山村地域や集落の世代交代を見据えて農山村に向かう若者の動向に関心を寄せ、地域資源管理の担い手や地域マネジメントのあり方について、各地に幅広いネットワークを持って地域づくり活動や集落再生の展開を支援している。

著書に『人口減少時代の地域づくり読本』（共著、公職研、2015年）、『地域サポート人材による農山村再生』（2014年、筑波書房）、『農山村再生に挑む』（共著、岩波書店、2013年）等多数。



<事例発表>

ふるさと財団 地域再生マネージャー 丹羽健司氏

信州大学農学部卒。1980年農林水産省入省。2005年愛知県豊田市で市民参加型森林調査「森の健康診断」運動を開始、2007年から「山里聞き書き塾」、2009年から木の駅プロジェクト、2010年から「組手仕」による木育木装運動などを全国に普及。2010年東海農政局を早期退職後、鳥取県智頭町はじめ、全国各地での木の駅の立ち上げを手伝ってきた。ふるさと財団 地域再生マネージャー

著書に、『森の健康診断～100円グッズで始める市民と研究者の愉快的森林調査』（共著・築地書館）、「木の駅～山も人もいきいき～」（全林協）、「森の健康診断の10年」（東京大学演習林出版）

